

再任用・会計年度任用職員部ニュース

No. 343
2021.9.15

東京都公立学校教職員組合（東京教組）
再任用・会計年度任用職員部
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 2F
TEL. 03-5276-1311 FAX. 03-5276-1312

2021 再任用・会計年度任用職員部アンケートを実施します 退職者が安心して働ける職場作りをめざそう

昨年度より導入された会計年度任用職員制度により、非常勤教員、特別支援教室専門員、時間講師などの方々は、新しい制度の下に働くことになりました。会計年度任用職員は、年齢にかかわらず選考の申し込みができ、ボーナス（期末手当）も支給されるようになりました。

しかし、昨年秋に行われた非常勤教員の2021年度公募1次選考において、都教委は突然「論文1600字」を課し、多くの不合格者が出るという大きな問題が生じました。都は、定年退職する職員が継続雇用を希望する場合、公的年金の支給年齢に達する年度までは再任用での採用を原則としていますが、退職後の個々のライフスタイルに合わせた働き方を確保するためには、誰もが希望しやすく働きやすい雇用制度を守ることが必要です。

新型コロナウイルスの感染状況は、10代以下の感染が大幅に増え、新学期の開始とともに、子どもたちは大きな不安の中で学習・生活をしています。教員も子どもの健康チェック、手洗い、消毒、3密回避などの指導が欠かせず、さらに、文科省は、すでに高校等に抗原検査キットを配布し、教員の管理下で、生徒本人に検査をさせるとしています。これは、学校に行けば検査ができるという誤ったメッセージになりかねません。

また、一人1台の端末配布によって、コロナ対策のオンライン授業実施の圧力が高まり、その準備は教員のさらなる多忙化を招いています。教員の働き方改革への逆行です。特にICT機器使用に不慣れな高齢の教員にとっては大きな負担です。

教職員全体が働きにくさを感じている職場の状況は、私たち再任用・会計年度任用職員も安心して働ける勤務環境ではありません。東京教組再任用・会計年度任用職員部は、職場の実態を把握するために、毎年恒例のアンケートを今年も実施します。勤務をする上で困ったことや疑問に思ったことがありましたらどんどんご記入ください。

昨年アンケートには、以下のような回答が寄せられました。

「週12時間すべて異なる授業なので準備片付け評価等まともにやっているとは休憩時間も取れない状態（現職教員はもっと大変だが）」（非常勤）

「管理職が、勤務の割振りに無理解だった。都教委が作成した勤務の割振り例を理解しようとしていない」（再任用短時間）

「現職と全く同じ仕事で月10万円のカット。ボーナスは半分でもやらないといけない。子どもが大学生であったのに扶養手当もカットされた」（再任用フルタイム）

このように、現場からは、勤務条件（勤務日数・休務日の指定・勤務の振替）に関わって、管理職による無理解や不当な扱いを指摘する声が上がっています。

今年度末に退職する方から、年金の一部支給はなくなり、年金は65歳まで出ません。退職後の雇用を守り、安心して働ける職場を作るとりくみはますます重要になっています。特に、管理職の制度への無理解、横暴な言動や、同僚との関わりなど多くの仲間が職場での苦労や不満、問題を抱えています。アンケート結果は、集約後にニュースでお知らせする他、東京教組の協力を得て毎年3月に行う都教委交渉での資料とします。勤務条件改善のために皆さんのご協力をお願いします。

アンケートは、10月30日（土）までに各支部、または東京教組へ送って下さい。

江戸川区、最終局面で

「パラリンピック学校連携観戦プログラム」への参加を中止！

飛田 邦子（江戸川）

8月24日パラリンピック開会式当日、江戸川区教育委員会は「学校連携観戦プログラム」への参加の中止を明らかにしました。中止の理由として、新型コロナウイルスの感染拡大や医療体制の逼迫が挙げられました。その日の午後、校長から「観戦中止」が正式に伝えられて、職員室は一瞬ざわめき、教職員の拍手が沸き起こった職場もあったと聞いています。「ほっとした」と語る保護者の声も届いています。

8月17日、「条件が整えば、パラリンピック『学校連携観戦』に参加する」と区教委から一方的な方針が示されてから1週間、区教組をはじめ、他労組、自民党・公明党を除く区議会議員、医師会、地域の市民団体、保護者、区民たちは『学校連携観戦』参加反対の声を区長・教育長・教育委員会に突きつけてきました。区教組は教育長への陳情書を提出し、組合員にはニュースやメールで事態の危険性・緊急性を訴えました。市民団体が21日の夜、急遽立ち上げた緊急ネット署名にも取り組みました。署名は、24日朝までの短期間に2500筆近く集まり、区民の観戦反対の強い意思を区長に伝えました。他支部の組合員や区教組OB・OGも署名に協力してくれ、拡散に尽力してくれました。

ふりかえてみると、江戸川区は7月に「オリ・パラ『学校連携観戦プログラム』」の参加の中止を決定していたのです。7月9日付で、全保護者に通知も出していました。にもかかわらず、「貸し切りバスを使用できる」「希望者全員が参加できる」の2点をもって、これまでの決定を覆して、8月20日に「学校連携観戦」参加を決定し、保護者に通知し、各校には参加の準備を指示しました。

7月9日付の通知では中止の理由として、「新型コロナウイルス感染症をめぐる状況や観戦方法など」「緊急事態宣言の発令」や「無観客開催」があげられていました。8月20日の時点では、緊急事態宣言は発令中であり、パラリンピック競技大会も無観客開催、デルタ株によって、毎日5000人もの新規感染者が出ていてまさに感染爆発。子どもたちにも感染が広がり、2学期の開始を危ぶむ声すら上がっているほどで、オリンピック開催時よりも感染状況は格段に悪化し

ていました。

「災害級の感染拡大状況」が続く中で、ワクチン未接種の児童・生徒たちの集団が、貸し切りバスで観戦に参加すること自体、密をつくり、引率の教職員もふくめて感染のリスクを高める以外の何物でもありません。保護者も子どもたちからの家庭内感染を怖れていました。たくさんの人たちに感染リスクを高めるパラ観戦を実施するのは誰が考えても間違っています。

このような思いを、「学校連携観戦」中止を求めて、それぞれのやり方で取り組んだ結果が表れたのだと思います。最終場面まで持ちこんだとはいえ、「学校連携観戦」参加の中止を区に決断させた皆さんの力に敬意を表したいと思います。

残念ながら、いくつかの区市が「学校連携観戦」を実施しました。8月中旬、児童・生徒に「修学旅行も断念せよ」と言う傍ら、「パラリンピック参加には教育的意義がある」と相反することを平気で言い、「無観客開催」でありながら子どもたちに「学校連携観戦」参加を強いた小池都知事、藤田都教育長。そしてオリ・パラ競技大会組織委員会武藤事務総長、橋本会長、元をただせば菅首相らの責任は大きいと思います。現に千葉では感染が起きてしまいました。

リスクがあることを分かっているながら、子どもたちと教職員の命と健康を蔑ろにして、「パラリンピック学校参観」を強行させたのは何のためだったのでしょうか？支持率低下の菅首相の挽回？オリ・パラで国威発揚？「オリ・パラ教育の集大成」として？考えていきたい課題です。

八王子の「学校連携観戦プログラム」参加の実態

顧問 水谷 辰夫（八王子）

八王子市は東京都で「パラリンピック学校連携観戦プログラム」に中止を決定できずに「参加」実施に突き進んだ4自治体の一つであり、唯一の市です。

6月から八王子でも様々な市民や団体が、市長や教育長に対し、「オリンピック・パラリンピックの中止を都や国に訴えること」・『学校連携観戦』を市の判断でやめること』の要請をくりかえしてきました。しかし、最後まで自治体としての判断をすることなく、都教委に従って「オリンピック観戦」は取りやめたものの、当日は「登校日」として、応援プレゼント作成の時間を持つことなどを各学校に要請しました。

オリンピック終了後、「無観客での開催」とされたパラリンピックの会場に「学校連携観戦の学童は観戦させたい。」との無謀な提起が小池都知事から出されました。コロナ感染拡大の危険が大きく叫ばれている折にも関わらず…。「パラリンピックを実地で見ることの教育的効果」を強硬に言いはり、その姿勢そのままの「都教委の方針」が、8月17日、都内8区市教育委員会に伝えられることになったようです。

伝達の内容は、次のようでした。

8/17(火) 電話での連絡。パラリンピックの児童生徒観戦を保護者の同意の下、希望を募るように。

8/18(水) 各学校にメール。翌日19日15:00迄に希望を聞き返信する。上限300名とする。この事柄に沿って八王子市でも、急激な決定が行われたと思われます。そのことを、ある市議会議員のメモで知ることができました。

8/20 (金) 13時過ぎ頃、指導課長と電話で話す。

パラがあてがわれている学校について、先日の市教育委員会定例会で、「授業としての参加はやめる」と決定したとのこと。よって、平日にあたっていた学校については、パラ観戦はしない。たまたま土日にあたっている学校が何校かあり（何校か、学校名は教えなかった。学校に電話がいても困るのとのこと）、その学校については、保護者へのアンケート（オリの前にとっている、再確認もするかもしれないが）などによって決定する。

ということでした。ただ「先日の定例会決定」が、いつの教育委員会で「協議」されて決定に至ったのか記載された文が教育委員会のホームページでは見当たりません。傍聴者も記憶にないと言っています。傍聴ができない秘密会での決定だったのでしょうか？

八王子市立学校でパラリンピック観戦に参加した学校は3校。8月28・29日の土曜日と日曜日に行われました。市教委の「授業としての参加はやめる」との決定は、八王子市議会議員への説明通りのようです。小・中学校合わせての参加者について8月26日、八王子市長が、予定の話として、**学校連携観戦は「3校で教職員と生徒合わせて134人になるだろう」と**述べていましたが、実際の参加児童・生徒数は86名と激減し、教職員をあわせても100名ちょっとがやっとの人数だったようです。

参加したある学校の詳しい参加状況は、

△△名と教師△名が貸し切りバスに分乗。一人2座席使用。用意された観戦シート数200座席。隣との間3シート。マスクは不織布指定。観戦時間は1時間位。観戦参加、事前のコロナウイルス検査は行われておらず、バス乗車時に靴底までのアルコール消毒、いたるところで手指のアルコール消毒。隣の学校迄は20シート以上空いていた。引率者は校長以外は希望者の中から抽選。冬季休業中に振休。(参加学年の総数10△名学校ホームページより)

文中の△は数字一字…学校を特定できないように配慮

と知らせを受けました。

8月20日時点で、参加予定と都教委に報告された人数が「340名」ということなので、八王子市での参加86名は、観戦を呼びかけ「参加してもよい」と希望した家庭の児童・生徒の25%程度の数値となります。逆に言えば、「参加したいと思っていたのだけれど、やっぱり参加しなかった(保護者がさせなかった)」者の割合が75%もあったということです。ですから、これで、「オリ・パラ教育の意義を・・・」などと大きなことが言えるのでしょうか？ はなはだ滑稽です。ただ、ただ、児童生徒の健康や安全を顧みず「学校連携観戦で子供を動員利用する」という1点だけのために、市の予算をつぎ込んで、強行実施したということなのでしょう。

「これが教育といえるのか」と言いたい思いでいっぱいです。

いったい何のために！ 誰のために自治体行政挙げてそんな愚行をしていくのでしょうか！

お知らせ 秋の歴史散歩 11月7日(日)

八王子絹の道を歩こう 昼食交流会もあります

多くの部員、及び部員OB・OGのご参加をお待ちしています

期 日 11月7日(日) 10時15分集合・・3時30分頃解散

(昼食を含めて)

集 合 午前10時15分 場所 京王線 北野駅北口

行 程 京王線北野駅改集合→北口バス乗り場 ⇒ (バス移動) ⇒ 北野台3丁目 — (徒歩)
→大塚山公園 → (石碑・灯籠・道了堂跡) → 絹の道碑 → 「絹の道」散策
→ 絹の道資料館見学 → 諏訪神社 (急階段あり) → 小泉屋敷 → 永泉寺
→ きっちななかやま (食事) → 柏原橋バス停 ⇒ (バス移動)
⇒ 京王線南大沢駅 解散

(山林の小道を歩きますので、長袖の羽織るものと、スニーカーがお勧め)

昼食 きっちななかやま (東京都八王子市上柚木 205)

京王多摩線 南大沢駅より橋本駅行きバス 柏原橋または永泉寺入口バス停

参加費用 路線バス代 460円。 昼食その他 2500円ほど

参加方法 ①散策・昼食会の全行程参加 ②散策のみ参加

※ 原則 散策と昼食共に参加としてください。

バス本数が少ないため、散策のみの参加の場合、南大沢駅まで徒歩30分を要します。

参加申込み 10月末日までに、お名前、参加方法を東京教組 (FAX03-5276-1312) へ

秋の歴史散歩 参加申込み書 (このページ用紙のままFAXしてかまいません)

| | | |
|-----|--------------------|-----|
| お名前 | 単組 (現・元) 職場 | 連絡先 |
|-----|--------------------|-----|

1 散策・昼食会の全行程参加 2 散策のみ参加

※ いずれかに○印をつけてください。

2. 近況報告・メッセージ等あれば自由にお書きください。

当日の連絡先 090-3592-6686 携帯 E-mail : t-mizutani0102-1952@ezweb.ne.jp
前日まで パソコンメール tatsu-mizutani@tbc.t-com.ne.jp (水谷)